

# 平成23年度

# 施政方針

地域が変わる新たな「挑戦の年」  
市民と行政のパートナーシップによる「新たなまちづくり」を目指して

## 市民と行政のパートナーシップ

◇パートナーシップによる新たなまちづくりのための取り組みを進めます。

- 地域づくり懇話会…地域委員と地域担当職員により、地域課題の解決方法について議論します。
- 移動市長室…地域ごとに行われる地域づくり懇話会に市長が出席し、地域のまちづくりについて一緒に考えます。
- パートナーシップ推進市民会議…市民代表や学識経験者などで構成する市民会議を実施し、全市的なパートナーシップ推進の仕組みづくりを検討します。
- パートナーシップ人材育成事業…地域と行政の双方にパートナーシップを推進するためのリーダーやコーディネーターとなる人材を育成するため、研修を活用するなど、人材育成に努めます。
- (仮称)市民不満足度調査…市民満足度アップのための調査を実施します。



## 万全な医療体制の構築

◇急性期医療から在宅医療まで、切れ目のない充実した医療体制の整備を進めます。

- 新病院建設事業…平成25年春の開院を目指し、医師・看護師などの人材の確保や新病院までの公共交通の整備などの課題解決へ取り組みます。
- (仮称)総合健康センター整備事業…1月に策定した「袋井市保健・医療・介護構想」を実現するため、現市民病院の利活用を基本に「(仮称)総合健康センター」の整備に向けた取り組みを進めます。

## エコエネルギーの活用・促進

◇自然との共生を図りながら、人と自然に優しい持続可能な社会を形成するため、資源を有効に活用する事業を実施します。

- 竹エネルギー活用促進事業
- 菜の花エコプロジェクト推進事業
- 元気ハツラツ!風見の丘運営事業



## ふくろい ドリーム プロジェクト

袋井市の特徴を活かし、強みを更に伸ばす  
5つのドリームプロジェクト!

「ふくろいドリームプロジェクト」として重点的に  
取り組む主な事業をご紹介します。

## 新たな産業づくり

◇県下有数の農業生産地である袋井市をはじめ、多彩な産業と大学の技術が備わっている中東遠地域が相互に関係を深めることで、産業界の底上げを図ります。

- はじめよう農業人育成事業…これから農業を始めようとする方を育成します。
- 農作物加工販売応援事業…農産物の生産から加工、販売までの様々な場面における商品開発を支援し、6次産業化を推進します。
- 「ふくろい宣伝隊」サポート事業…「ふくろいの宝」である商品の売り込みと既存事業者のビジネスチャンスを拡大します。
- 袋井市東京ネットワーク交流事業…首都圏への販路拡大や人的ネットワークを構築します。



## 市民からの提案

◇市民の皆さんから提案していただいた2つの「未来へ贈る市民の夢プロジェクト」として「ふるさと袋井」をよりよい姿で後世に引き継いでいく事業を実施します。

- 誇れるふるさとの川づくりプロジェクト…ふるさとを象徴する川の再生に、多くの市民に多様な形で参加していただき、水質浄化だけでなく、川と人との結びつきを強めていきます。
- 袋井フロンティア農園プロジェクト…耕作放棄地の解消に、多くの市民に関わっていただき、市民共通の財産である農の機能を再生していきます。



きれいな川で生き物とふれあい

平成23年度に、施政の重点戦略として進めていく二つの柱をお知らせします。  
主な事業は、本紙6・7ページの「主な事業と予算」をご覧ください。

企画政策課 ☎44-3105

### 糖尿病予備群ゼロ作戦

02

◇放置し続けると重大な病気につながる恐れのある糖尿病。その予備群を減らしていくため、多面的な事業を実施します。

●糖尿病徹底予防事業…

保健師や管理栄養士、運動指導者が連携しながら運動指導や栄養指導を総合的に行います。



●地域で取り組む健康教室開催事業…糖尿病の正しい知識を普及させるため、地域の健康づくり推進員などと連携して、公会堂や公民館、事業所などで開催する出前健康教室の回数を増やします。

●健康チャレンジ!!すまいる運動…ウオーキングやダンベル運動、ながら運動に加えて、スローエアロビックも取り入れ、健康的な生活習慣の定着を推進します。

### 待機児童ゼロ作戦

01

◇増加する保育需要にこたえるため、施設整備を計画的に進めるなど、多様な保育サービスを充実させ、待機児童をゼロにします。



●市内で安心して子ども

を預けられる保育環境の整備…愛野こども園(4月開園)の運営や、市中央部への民間保育所建設(平成24年4月開園予定)に対して、補助金を交付します。

●認証保育所補助事業…保育料の補助額を増額し、保護者の負担を軽減します。

●預かり保育事業…新たに若葉幼稚園で「預かり保育」を開始し、さらに、山梨・若草・浅羽東幼稚園の3園での「夏休み期間の預かり保育」を行います。

### 5つのゼロ作戦で袋井市の課題を克服!

「ふくろい5つのゼロ作戦」として重点的に取り組む主な事業をご紹介します。

ふくろい  
5つの  
ゼロ作戦

### 市税滞納ゼロ作戦

05

◇税負担の公平性を確保するため、市税等の滞納を解決します。

●市税収納対策事業…4月から、全税目のコンビニ収納を開始するとともに、郵送による口座振替の手続きなど、納税環境の整備や滞納整理を効果的に進める収納管理システムの改善、徴収体制の拡充により、収納率の向上に努めます。



### 集中豪雨被害ゼロ作戦

04

◇河川の整備や自主防災隊との連携を密にした災害対策を進め、集中豪雨被害を防ぎます。

●風水害防災対策事業(河川水位計等整備)…河川水位計や浸水センサーを新たに設置し、河川などの水位状況を的確に把握し、迅速な情報提供に努めることで、近年の異常気象によるゲリラ豪雨被害を未然に防ぎます。

●同報無線デジタル化事業…迅速かつ確実な情報伝達が可能なシステムを整備します。

●治水対策事業…浸水被害の軽減を図るため、流出抑制施設や遊水池などを整備します。



### 発達障がいの子心配ごとゼロ作戦

03

◇発達障がいがある子どもへの支援を充実させ、心配ごとをなくします。

●子ども発達支援トータルサポート事業…専門職が保健・福祉・教育の分野で連携して支援するネットワークを平成25年度までに構築し、発達障がいの子どもの早期発見・早期支援を行います。



### 「市民の力・地域の力」を最大限に発揮

### 平成23年度は「市民と行政の新たなパートナーシップづくり元年」に!

国内外の経済情勢はこれまでにないスピードで変化し、地域経済や地元の中小企業を取り巻く環境は、さらに厳しさを増しています。

市政においても、税収の減少や福祉支援に対する需要の増加などにより、従来にも増して適切で慎重な判断が求められる中、地域における様々な課題を克服し、本市に持続的な発展をもたらす原動力は、「市民の力」であり、「地域の力」です。

市民の皆さんが主体的にまちづくりに参画することで、自らのまちの魅力や快適さを高めていく喜びと自信を得ることができる。新しい仕組みを創り出していくことが、市民の満足度を高めていくことにつながっていくと考えています。

まちづくりのいたるところで「市民の力・地域の力」が発揮されることで、地域コミュニティの基盤が強化されるよう、努めます。



袋井市長 原田英之